



剣持堅吾議長（写真左）、赤澤康宏副議長（写真右）

▼総務生活委員会
【委員長】三宅啓介
【副委員長】高谷幸男
【委員】溝手宣良、難波正吾、小西

10月臨時市議会が、10月11日に開かれました。議長に剣持堅吾議員（地頭片山）、副議長に赤澤康宏議員（清音柿木）の就任が決定。議会から選出される監査委員には、深見昌宏議員（総社二丁目）を選任する同意案が原案のとおり可決されました。任期は、いづれも令和3年10月1日までの2年間です。

▼議会運営委員会
【委員長】加藤保博
【副委員長】津神謙太郎
【委員】菅野哲也、三宅啓介、岡崎亨一、高谷幸男、頓宮美津子、名木田正昭、山口久子（敬称略）

また、雪舟生誕地公園条例の制定、水道事業会計補正予算の2議案も原案のとおり可決されました。

10月臨時市議会 常任委員選任

問い合わせ 議会事務局 (☎083332)

利一、赤澤康宏、山口久子
▼文教福祉委員会
【委員長】菅野哲也
【副委員長】頓宮美津子
【委員】三上周治、深見昌宏、加藤保博、根馬和子、剣持堅吾

▼産業建設委員会
【委員長】岡崎亨一
【副委員長】小川進一
【委員】山田雅徳、小西義巳、津神謙太郎、村木理英、名木田正昭

平成30年度 決算

〈一般会計〉6885万円 歳入不足

平成30年度の一般会計と7つの特別会計、2つの公営企業会計の決算がまとまりました。

特別会計と公営企業会計は黒字決算でした。福祉や教育、土木、消防など、行政運営の基本的な経費を計上している一般会計は、歳入が6885万円不足し赤字決算の見込みとなったため、貯金の一つである財政調整基金から3億円を取り崩して歳入に繰り入れ、2億3115万円の黒字決算としました。

赤字となった主な理由としては、西日本豪雨災害の復旧に約42億円を要したことが挙げられます。

引き続き西日本豪雨災害からの復旧・復興事業を最優先に取り組みながら、今後予定されている庁舎建て替えなどの大型事業や地域に密着した事業を推進していけるよう、健全な財政運営に努めます。

※1万円未満の額がある場合、四捨五入しています

問い合わせ 財政課 (☎083332)

財政調整基金からの取り崩し3億円含む



西日本豪雨災害復旧事業

復旧経費 約42億円

（主な事業）	
公共施設等災害復旧事業①	13億1645万円
災害廃棄物処理・家屋解体事業②	8億911万円
被災農業機械支援事業	7億763万円
仮設住宅設置事業③	4億1865万円
災害見舞金④	2億8260万円



その他主な事業

地域力再生予算	3759万円
住宅新築助成金	400万円
雪舟公園整備事業	3億3337万円
ふるさと納税関連経費⑤	10億5972万円
総社市新生活交通事業⑥	6805万円
障害者自立支援福祉サービス給付等事業	10億9043万円
障がい者千五百人雇用事業	2236万円
小児医療費（対象年齢拡充分）	1360万円
旧昭和児童館改修事業	5529万円
新認定こども園施設整備事業⑦	6億1860万円
健康インセンティブ事業	2901万円
有害鳥獣対策事業	939万円
果樹団地整備事業	4906万円
南北道整備関連事業	1億781万円
総社小学校改築事業⑧	15億5151万円
調理場新設事業	8億6556万円
常盤第2分館新築整備事業	1億3898万円



香川県三豊市から



榎原 隆宏（税務課）
短い期間ですが少しでも力になればと思います。よろしくお願ひします。

全国から
総社市役所へ
新たに10月から、災害復旧業務に当たるため、応援職員を迎えました。氏名・配属などは次のとおりです。

10月1日付人事異動

10月1日付で人事異動を発令しました。異動したのは課長級から主任級までの職員4人。課長級以上の職員は次のとおりです。

【課長級】
▼秘書室主幹 角田琢美
問い合わせ 総務課職員係 (☎083332)

8月定例会市議会

8月28日から9月20日まで24日間の会期で開催された8月定例会市議会。平成30年度決算認定や令和元年度一般会計補正予算など、38議案が原案どおり可決などされました。

可決された議案は、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定や放課後児童クラブ施設条例の一部改正など。認定された決算は一般会計と7つの特別会計、2つの公営企業会計の10会計です。

一般会計補正予算は、2億9400万円の増額。幼児教育無償化に伴う施設利用料などを公費で給付するための経費4100万円、西日本豪雨で被災した住宅の復旧資金にかかる利子補給制度創設に伴う経費約1996万円などです。

人権擁護委員の候補者に小原充子さん（総社）、若原寛さん（下倉）を推薦することにも同意されました。

問い合わせ 総務課行政係 (☎083332)